

第4回アジア・太平洋水サミット 分科会3

水と環境～水源から海まで～

Water and the Environment from Source to Sea

—持続可能な自然環境・社会環境のためのさまざまなレベルのガバナンス—

開催日	2022年4月23日(土)
時間	15:40-17:10【時間は変更となる可能性があります】
会場	熊本城ホール 分科会会場3(熊本県熊本市)【一般はオンライン傍聴のみ】
参加料	無料
使用言語	英語・日本語(日英同時通訳)
主催機関	国立研究開発法人土木研究所(流域水環境研究グループ) 国土交通省(水管理・国土保全局河川環境課) 世界水パートナーシップ(GWP)
共催機関	アラル海救済国際基金理事会(EC-IFAS) 国際自然保護連合(IUCN) 国連教育科学文化機関(UNESCO) 公益財団法人 リバーフロント研究所

分科会概要

水と環境の安全保障は、自然の持続可能性と人間の幸福に深く結びついている。しかし、アジア太平洋地域では、気候変動、生態系の劣化、予測不可能な病気、人工的な汚染、不公平なガバナンスなど、人間活動がもたらす負の影響によって、水を取り巻く環境が脅かされつつある。そのため、水と環境のシステムを回復し、適切な管理を促進することが極めて重要である。私たちは今、未来を見据えた生息地の保全という重要な局面に立たされている。

次世代の生活、ビジネス、文化の持続可能性のためには、水と環境の関連性を理解し、人間が管理する水管理に自然を基盤とした戦略を適用することが最も重要である。特にアジア太平洋地域に住む私たちは、すべてのステークホルダーを対象としたマルチレベルのガバナンスを通じて、水源から海までの自然・社会的な「水と環境」を総合的に保全する責任を負っている。

本分科会は、その教訓を互いに交換し、合理的で実現可能なアプローチを見つけ出し、長期的なアクションに取り組むための舞台となる。経済発展と環境保全のコロナ禍からの復興、官民の連携、地域・国内・国際の各レベルのステークホルダーの協力、継続的かつ総合的な生物調査を含む流域環境管理システム、グリーンインフラの促進について議論する。



筑後川・早津江川河口部及び有明海(福岡県・佐賀県)



都市部を流下する江戸川(東京都・千葉県)

プログラム(案)は裏面

プログラム（案）

モデレーター 松木洋忠氏（国立研究開発法人土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター(ICHARM) 水災害研究グループ長）

15:40 開会あいさつ

Mr. Howard Bamsey（世界水パートナーシップ議長）

15:44 基調講演（ビデオ）

H.E. Mr. Peter Thomson（国連海洋担当事務総長特使）

15:54 国・機関別報告（各7分）

H.E. Mr. Serikkali Brekeshev（カザフスタン共和国生態系・地質・天然資源大臣）
“アラル海北部における生態系の再生”

三日月大造氏（滋賀県知事）

“滋賀県の琵琶湖の総合的な保全の取組”

Ms. Ying Li（中国・東南大学／揚子江水パートナーシップMSPプロジェクトグループ）

“揚子江の水源から海までのプラスチック汚染に対するさまざまな利害関係者との調整方策”

Ms. Elvira Apriana（インドネシア・ジョグジャカルタ ガジャマダ大学）

“UNESCO指定地での水強靱性の取組：インドネシア・ロンボック島リンジャンニ・スンバルム地区でのケーススタディ”

Dr. So Nam（ラオス・メコン河委員会事務局環境管理部主任環境管理官）

“メコン河下流域での持続可能な発展に資する統合水資源管理及び環境管理”

村岡敬子氏（国立研究開発法人土木研究所流域水環境研究グループ総括主任研究員（流域生態））

“日本における河川水辺の国勢調査 ～これまでとこれから～”

16:36 パネルディスカッション

モデレーター：松木洋忠氏（国立研究開発法人土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター(ICHARM) 水災害研究グループ長）

パネリスト： 国・機関報告の発表者

17:03 とりまとめ・閉会あいさつ

国土交通省 加藤鮎子 政務官

17:10 閉会

第4回アジア・太平洋水サミット公式ウェブサイト及び参加登録

第4回アジア・太平洋水サミットのプログラム、参加登録等は以下の公式ウェブサイトアクセスしてください。なお、一般の方の分科会への参加（傍聴）はWeb参加のみとなります。

<https://www.4apws-kumamoto2022.jp/>

問合せ先

アジア・太平洋水フォーラム／第4回アジア・太平洋水サミット事務局（日本水フォーラム）

電話 03-5645-8040 E-mail 4apws@waterforum.jp

本分科会担当：国土交通省水管理・国土保全局河川環境課（担当：大谷）

電話 03-5253-8111（代表）内線35-469 E-mail ootani-s8310@mlit.go.jp